

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：令和元年度（2019年度）大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）

実施日：令和元年6月27日（木）～28日（金）

実施会場：愛媛大学 工学部本館3階大会議室

参加者数：36名

回答者数：35名

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	32	91.4
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	3	8.6
④ その他（ ）	0	0.0
計	35	100.0

(2) 所属先の設置者

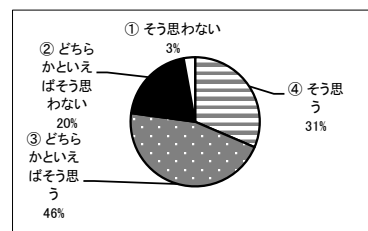
	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	24	68.6
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	2	5.7
③ 学校法人	9	25.7
計	35	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。（具体的に）
別紙記載

2. この研修について

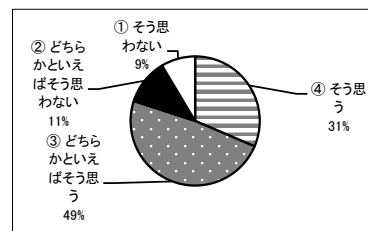
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	11	31.4
③ どちらかといえばそう思う	16	45.7
② どちらかといえばそう思わない	7	20.0
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



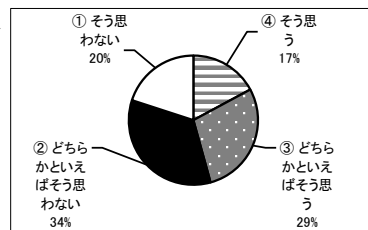
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	11	31.4
③ どちらかといえばそう思う	17	48.6
② どちらかといえばそう思わない	4	11.4
① そう思わない	3	8.6
計	35	100.0



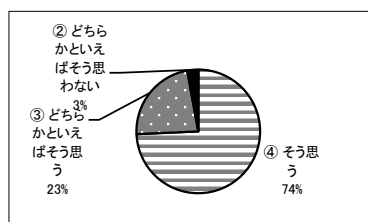
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならぬ状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	17.1
③ どちらかといえばそう思う	10	28.6
② どちらかといえばそう思わない	12	34.3
① そう思わない	7	20.0
計	35	100.0



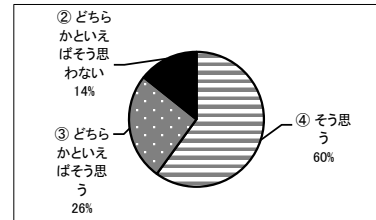
(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

	回答数	割合
④ そう思う	26	74.3
③ どちらかといえばそう思う	8	22.9
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



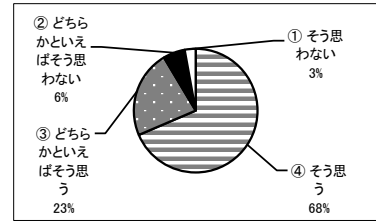
(5) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	21	60.0
③ どちらかといえばそう思う	9	25.7
② どちらかといえばそう思わない	5	14.3
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



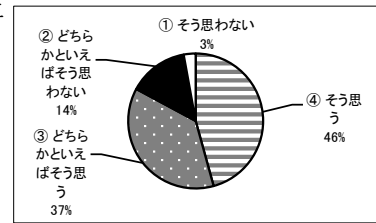
(6) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	24	68.6
③ どちらかといえばそう思う	8	22.9
② どちらかといえばそう思わない	2	5.7
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



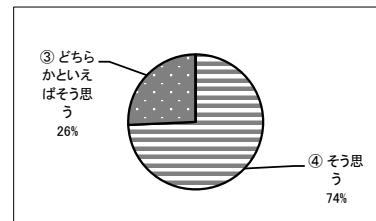
(7) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	16	45.7
③ どちらかといえばそう思う	13	37.1
② どちらかといえばそう思わない	5	14.3
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



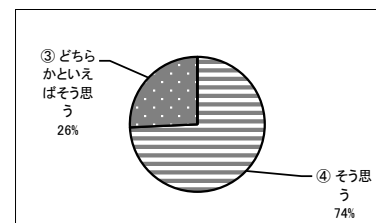
(8) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	26	74.3
③ どちらかといえばそう思う	9	25.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



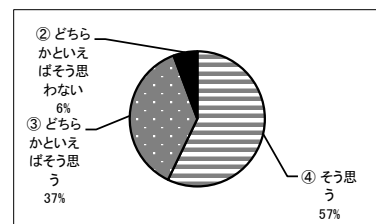
(9) 事務局の対応は丁寧だった

	回答数	割合
④ そう思う	26	74.3
③ どちらかといえばそう思う	9	25.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



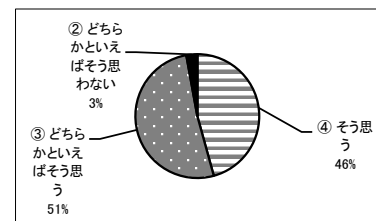
(10) 新たに人的なつながりをつくることのできた

	回答数	割合
④ そう思う	20	57.1
③ どちらかといえばそう思う	13	37.1
② どちらかといえばそう思わない	2	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(11) 研修は全体的に満足できるものだった

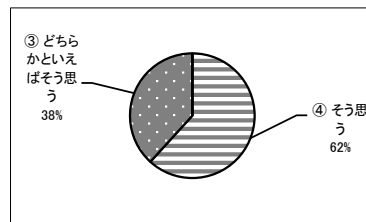
	回答数	割合
④ そう思う	16	45.7
③ どちらかといえばそう思う	18	51.4
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(12) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	21	61.8
③ どちらかといえばそう思う	13	38.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	34	100.0

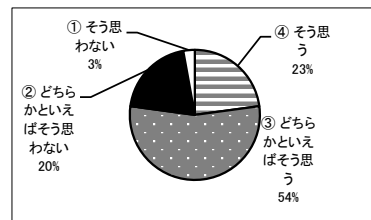
※1名未記入



3. 「高等教育論」について

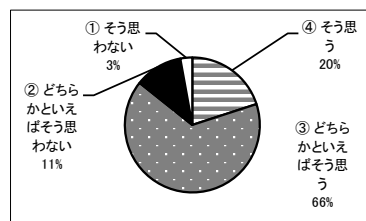
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	8	22.9
③ どちらかといえばそう思う	19	54.3
② どちらかといえばそう思わない	7	20.0
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



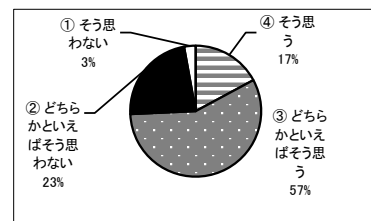
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	7	20.0
③ どちらかといえばそう思う	23	65.7
② どちらかといえばそう思わない	4	11.4
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



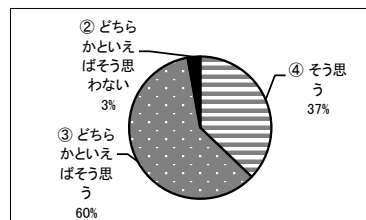
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	6	17.1
③ どちらかといえばそう思う	20	57.1
② どちらかといえばそう思わない	8	22.9
① そう思わない	1	2.9
計	35	100.0



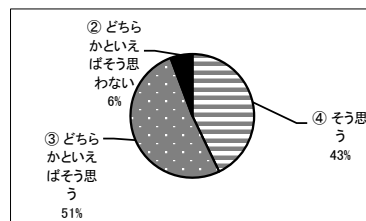
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	13	37.1
③ どちらかといえばそう思う	21	60.0
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

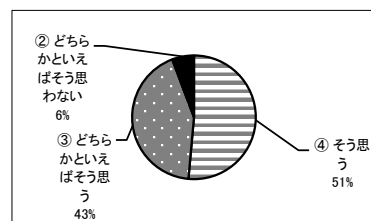
	回答数	割合
④ そう思う	15	42.9
③ どちらかといえばそう思う	18	51.4
② どちらかといえばそう思わない	2	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



4. 「部下育成実践」について

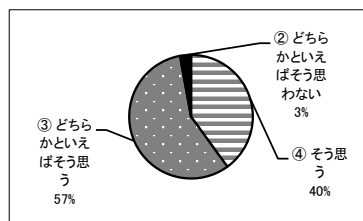
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	18	51.4
③ どちらかといえばそう思う	15	42.9
② どちらかといえばそう思わない	2	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



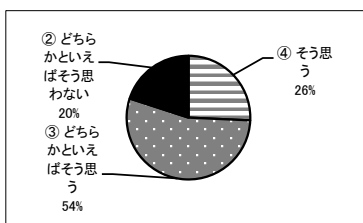
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	14	40.0
③ どちらかといえばそう思う	20	57.1
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



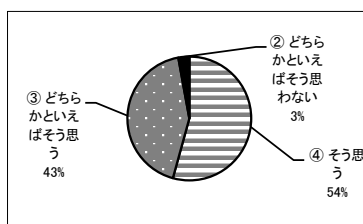
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	9	25.7
③ どちらかといえばそう思う	19	54.3
② どちらかといえばそう思わない	7	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



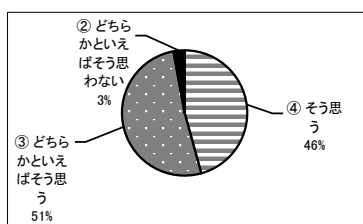
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	19	54.3
③ どちらかといえばそう思う	15	42.9
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

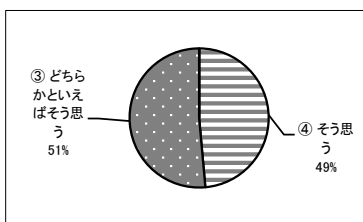
	回答数	割合
④ そう思う	16	45.7
③ どちらかといえばそう思う	18	51.4
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



5. 「危機管理実践」について

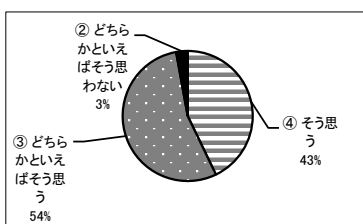
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	17	48.6
③ どちらかといえばそう思う	18	51.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



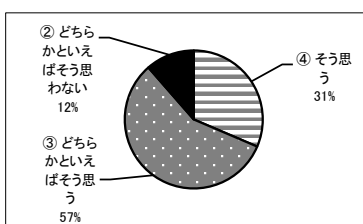
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	15	42.9
③ どちらかといえばそう思う	19	54.3
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



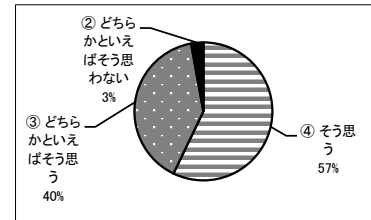
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	11	31.4
③ どちらかといえばそう思う	20	57.1
② どちらかといえばそう思わない	4	11.4
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



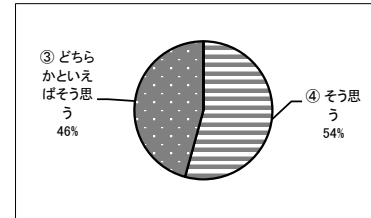
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	20	57.1
③ どちらかといえばそう思う	14	40.0
② どちらかといえばそう思わない	1	2.9
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

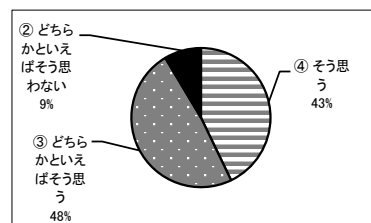
	回答数	割合
④ そう思う	19	54.3
③ どちらかといえばそう思う	16	45.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



6. 「企画力育成実践」について

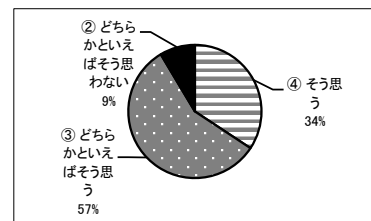
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	15	42.9
③ どちらかといえばそう思う	17	48.6
② どちらかといえばそう思わない	3	8.6
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



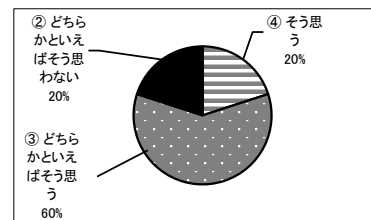
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	12	34.3
③ どちらかといえばそう思う	20	57.1
② どちらかといえばそう思わない	3	8.6
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



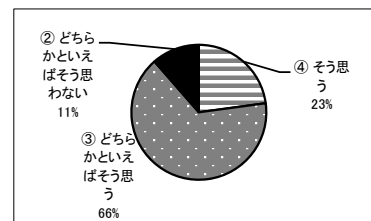
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	7	20.0
③ どちらかといえばそう思う	21	60.0
② どちらかといえばそう思わない	7	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



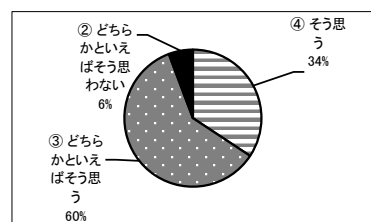
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	8	22.9
③ どちらかといえばそう思う	23	65.7
② どちらかといえばそう思わない	4	11.4
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	12	34.3
③ どちらかといえばそう思う	21	60.0
② どちらかといえばそう思わない	2	5.7
① そう思わない	0	0.0
計	35	100.0



7. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

8. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

別紙記載

【自由記述】

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的にお書きください。)

- ロジカルシンキング
- 情報収集能力
- 他の複数の組織との調整を行う力
- 企画力・プレゼン力
- 全般… 例) 部下育成, 判断・決断力, 問題解決能力
- 部下育成実践, リスクマネジメント, 部下を指導するにあたり, ハラスメント等から強く言えない状況であり, 指導方法を知りたい。
- 部下育成 (今まで部下, 後輩のない部署であったため。)
- 情報系, ICT系
- 大学全体を俯瞰的に見る力, スキルを身につけなければいけないと痛感した。
- 部下育成のスキルと企画書の書き方
- 危機管理において, 危険性の予測が不十分である。
- コミュニケーションのスキル, 企画力が全くありません。
- 教務に関する知識
- スケジュール管理
- 係の職員の不満が溜まらないような職場環境作り。
- 自分の考えを相手に分かりやすく伝える能力。
- 危機管理能力, 企画力
- 専門知識
- 企画力, プレゼン力, ポンチ絵等資料作成
- 危機管理, 特に具体的なクレーム対応と知識
- 就職業務が中心のため, コミュニケーション能力
- 部下育成 (リーダーシップのスキル)
- 部下育成, 業務に関する法令, 通達等の知識
- 自分の考えを相手に分かりやすく伝える能力
- 自分の大学全体に関する知識。近年の高等教育機関の置かれている状況や今後の課題等に関する知識。
- 学務系の法規, 答申内容や国体協, 資料の理解
- 部下育成に係るスキル
- コミュニケーションスキル, 部下を指導する能力
- 会議や催事の企画, 運営能力
- 危機管理実践

7. 受講して良かったと思われる点を, 具体的にお書きください。

- 歴史を知ることができてよかった。
- これまできちんと学んだり考えたことのなかった高等教育論について学び, 大学の役割とは何か? 改めて考える機会になった。
- 必要なスキルの気付きがあった。
- 私立も含む他大学の方とのコミュニケーションがとれたこと。

- 実務に活かすことのできる内容が多かったです。ありがとうございました。
- 危機管理実践において、事件を他山の石とせず、自大学・高専で起こったならどうするかを意識し、クライシスマネジメントではなく、リスクマネジメントを取れるようにしたいと切迫感を持ちました。
- 部下育成について1年目の者に対して委任型になっていたのが改善を心がけます。
- 危機管理実践については、明日から活かせるもので、大学人としてもっと学ばなければいけないと気があった。
- 日々の行動を振り返るきっかけになった。
- 自分に足りないものを認識し、学びを深め、行動を変えたいと思ったこと。
- グループワークが多く、理解が深まりやすかったです。
- スキルアップできた。
- 高等教育論が面白かった。大変興味が湧きました。
- 危機管理について学ぶことができ良かったと思います。
- 危機管理について常にアンテナを張り、情報収集と多方面にリスクを意識することの大切さを実感した。
- 普段あまり意識せずに仕事をしてきたので、今回の研修会を通じて、何事にも意識を持って仕事をする重要性を学びました。
- 部下育成でフィードバックによる伝え方を学ぶことができ点。各大学の方々と交流できた点。
- 自分に不足している知識やスキルの気付きのきっかけとなった。大学に戻り、研修内容を活かせるようさらに勉強したい。
- 日頃、いかに頭を使っていないか思い知らされた。
- 研修を受けることにより、普段あまり意識せず行っていた行動を見直す良い機会となったと思います。
- 部下育成実践はすぐ役に立ちそうだと思います。
- 高等教育の歴史とこれから。
- 今まで私大連の研修には参加したことがあったが、国立大学の方との触れ合いはとても刺激的でした。ありがとうございました。
- 他大学の状況をお聞きし、とても参考になることが多かった。

8. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

- 「企画力育成実践」については、取り組み始めが難しかった。
- 事前に資料の配付があれば、グループワーク等準備ができた。また、内容を踏まえ情報交換会で講師に質問ができた。
- 「コミュニケーション」という言葉が万能過ぎる気がする。
- 配付資料のうち、スライドの赤字には下線が引いてあると、白黒印刷でも分かりやすいと感じました。
- 「企画力育成実践」の時間数をもっと多くして欲しかったです。ワークをしてグループ内で検討・共有する時間が足りませんでした。
- ワークの内容についてももう少し詳しく説明をしていただくと良かったかなと思います。
- 講義とワークの配分を改善いただければと思います。（講義がずっと続くとしんどいです。）
- グループと合わせて、日中の情報交換会の時間があっても良いように感じました。
- 復習できるよう、eラーニング教材としてWebに掲載して欲しい。
- 前泊が必要でないスケジュールにしていただけると助かります。（例：13時からスタートするなど）
- 企画力について、個人だけでなくチームの企画（同テーマに対する）、ブラッシュアップもあると良いと感じた。

(2) SPOD加盟校

・ SPOD加盟校の大学・短期大学・高等専門学校の新任教員（若干名）

7 参加費 無料

8 その他 「授業設計ワークショップ」対象者は、参加免除、または研修の代替を行ったとしても「授業参観・授業研究会」を受講し、その後、3年以内に「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を受講することが望ましい。

※「授業参観・授業研究会」の詳細は、

<http://www.tokushima-u.ac.jp/cue/fd/>

※「ティーチング・ポートフォリオ」の詳細は、

<http://www.teaching-portfolio-net.jp/>

9 主催 徳島大学FD委員会
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

授業設計ワークショップ日程（第1日目）

日時：令和元年8月22日（木）

場所：常三島キャンパス 地域創生国際交流会館 フューチャーセンター

時刻	内容	講師・担当者	備考
12:30-12:50	・受付（地域創生国際交流会館フューチャーセンター） ※12:45までにお集りください		11:00AM 徳島市に「大雨警報かつ暴風警報」または「洪水警報かつ暴風警報」が出ていると中止
12:50-13:30	(1) オリエンテーション ・はじめに ・大学教育改革の流れ ・教育の内部質保証方針 ・研修のねらいと意義	吉田 博（進行） 副理事(教育支援担当) 吉本勝彦 FD委員会委員長 川野卓二	フューチャーセンター
13:30-13:50	(2) アイスブレイク「課題・目標設定」 ・参加者自己紹介・交流	塩川奈々美	フューチャーセンター
13:50-14:00	休憩		
14:00-15:00	(3) ワーク「授業設計の基本」 ・アクティブ・ラーニングの理論と効果 ・成績評価の意義・方法 ・学生の学習を促す授業方法	吉田 博 塩川奈々美	フューチャーセンター
15:00-15:10	休憩		
15:10-16:10	(4) ワーク「自身の教育理念」 ・授業で大切にしていること	吉田 博	フューチャーセンター
16:10-16:20	休憩		
16:20-17:45	(5) 講義・ワーク「授業計画」 ・シラバス・授業計画書の書き方 ・シラバス・授業計画書の修正 ・2日目の模擬授業の進め方について	吉田 博	フューチャーセンター
18:00-20:00	交流会（任意参加）	吉田 博	

※事前に「授業設計ワークショップ」の講義ビデオのうち、指定された講義を必ず視聴して下さい。当日はビデオによる学習を行っていることを前提に、参加者間でのグループワーク等を行います。

授業設計ワークショップ日程（第2日目）

日時：令和元年8月23日（金）

場所：常三島キャンパス 教養教育4号館 4-202教室他

（集合後、模擬授業を実施する教室へ移動します。）

時刻	内 容	講師・担当者	備考
9:00-9:30	<ul style="list-style-type: none"> ・集合、模擬授業準備 (教材印刷が必要な場合は9:00集合) 	スタッフ	集合：教養教育 4号館4-202教室
9:30-12:10	<ul style="list-style-type: none"> (6) 模擬授業実施（グループで実施） ・FD委員紹介、流れの確認 【模擬授業の流れ】(1人25分×4人(休憩適宜)) ・シラバス・授業計画書等の紹介(5分) ・模擬授業の実施(15分) ・授業検討会(10分) →チェックリストをもとによかった点、改善点等を検討する。 	各班司会：FD委員 ワーク支援： スタッフ全員	〈模擬授業実施手順〉 教室：各班グループ部 屋へ移動
12:10-13:10	休憩 各自で昼食		
13:10-13:40	<ul style="list-style-type: none"> (7) 模擬授業の振り返り ・模擬授業検討会を受けて授業の改善点 ・今後のアクションプラン 	吉田 博 川野卓二	教養教育4号館 4-202教室
13:40-14:10	<ul style="list-style-type: none"> (8) 教育力開発コース概要 ・教育力開発コースの意義・内容 	吉田 博	教養教育4号館 4-202教室
14:10-14:40	<ul style="list-style-type: none"> (9) プログラムのまとめ ・講評 ・修了証書授与 ・アンケート ・おわりの言葉 	吉田 博(進行) 副理事(教育支援担当) 吉本勝彦 FD委員会委員長 川野卓二	教養教育4号館 4-202教室

高知大学 令和元年度
「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」実施要項

1. 主 催

高知大学 大学教育創造センター

2. 日 時

令和元年9月3日（火）～ 9月4日（水）

【1日目】令和元年9月3日（火）9：00～17：00 （8：45～受付開始）

【2日目】令和元年9月4日（水）9：00～17：00 （8：45～受付開始）

3. 場 所

高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市曙町二丁目5-1）

共通教育棟3号館1階310番教室

4. 参加対象者

新任教員、新たに大学の授業を担当する教員及び参加を希望する教員

※四国地区教職員能力開発ネットワーク（SPOD）全加盟校

5. 定 員

40名

6. 講 師

高知大学 大学教育創造センター

塩崎 俊彦（副センター長 教授）

杉田 郁代（准教授）

高畑 貴志（特任講師）

俣野 秀典（地域協働学部 講師／(兼)大学教育創造センター）

7. 目 的

学生の主体的な学びを引き出す授業を行うために必要となる知識や技術を体験的に学びます。

具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程についてグループワークを通じて理解し、シラバスの作成から模擬授業の実施までを体験します。

8. 目 標

- ①適切な授業の目的・目標が設定できる。
- ②わかりやすいシラバスを書くことができる。
- ③さまざまな授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できる。
- ④さまざまな成績評価の方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できる。
- ⑤学生参加型のグループワークを自ら授業で導入することができる。

9. 研修形態

- ①授業デザインやシラバスの書き方、公正な評価方法などについてミニ講義を通じて学びます。
- ②異なる学部の教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- ③アクティブ・ラーニングの手法を体験しながら、学びます。

10. 研修プログラム

【1日目】

開会式

1. オリエンテーション
2. グループワーク I 「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー I 「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
4. グループワーク II 「共通教育科目の開発①（目標設定と授業計画）」
5. ミニレクチャー II 「コースデザインの考え方」
6. ミニレクチャー III 「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
7. ミニレクチャー IV 「様々な成績評価、その目的と方法」
8. グループワーク III 「共通教育科目の開発②（授業計画と評価の方法・スケジュール）」

【2日目】

9. グループ発表 I 「グループワーク中間報告」
10. グループワーク IV 「共通教育科目の開発③（授業の計画・指導案）」
11. グループワーク V 「共通教育科目の開発④（最終発表準備）」
12. グループ発表 II （模擬授業）
13. ふりかえり
閉会式

11. その他

- ①テキストは、当日会場でお渡しします。
- ②研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- ③当日記録のため、カメラとビデオカメラで撮影を行いますのでご了承ください。
- ④修了証書は、全日程に参加された方のみに授与されますので、予めご了承ください。
- ⑤SPOD 加盟校外からの参加の方は、別途研修料金が必要です。

12. 準備物について

今年度、担当予定授業のシラバスをご持参ください。

13. 申込方法

8月27日（火）までに下記事項を記載のうえ、E-mailにてお申し込みください。
メール件名：学生の学びを支援する授業準備ワークショップの参加申込み
本文：①氏名（ふりがな）②所属③職名④メールアドレス⑤電話番号
申込先：学務課総務係（ y-spod@kochi-u.ac.jp ）

14. 本件に関するお問い合わせ先

高知大学学務課総務係（SPOD 担当）中山、井上、矢野
TEL：088-844-8144 FAX：088-844-8367
E-mail： y-spod@kochi-u.ac.jp

15. 参考資料

佐藤浩章編『大学教員のための授業方法とデザイン』玉川大学出版部
高知大学 大学教育創造センター作成『FDハンドブック Tips 集1～6、9』
高知大学 大学教育創造センター
『授業をもっと良くできる！授業改善アンケート、ピア・レビュー、
授業参観の進め方』

16. 他大学における新任教員プログラムのご案内

- ①高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」及び愛媛大学、徳島大学、香川大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク（SPOD）内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。
- ②以下のプログラムの受講を希望される方は、各大学の申し込み先にご連絡ください。

◆愛媛大学「第32回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】令和元年6月29日（土）～6月30日（日）

【会場】いまばり湯ノ浦ハイツ（宿泊研修）

【申込み先・問合せ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

TEL : 089-927-8922

E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

◆愛媛大学「第33回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】令和元年9月4日（水）～9月5日（木）

【会場】愛媛大学城北キャンパス（通い型）

【申込み先・問合せ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室

TEL : 089-927-8922

E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

◆徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】令和元年8月22日（木）～8月23日（金）

【会場】徳島大学常三島キャンパス

【申込み先・問合せ先】徳島大学学務部教育支援課教育企画室

TEL : 088-656-7686

E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

◆香川大学 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」

【日程】令和元年9月12日（木）～9月13日（金）

【会場】休暇村讃岐五色台（香川県坂出市）

【申込み先・問合せ先】香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

TEL : 087-832-1153

E-mail: gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp